

# 学校 夜間 釜崎 釜 3回 才

今日の「喜望の家」一階

## 7/30 テーマ「外国の下層労働者」 スライド上映 人を食うバナナ

■我々がいつも目にするバナナの大半は、フィリピンのミンダナオから輸入されています。昔は高価な果物の代表でしたが、今では安く気軽に食べることができます。物価上昇が常なのに、どうして安いのでしょうか。それにはフィリピンの労働者の汗と苦しみがめづれているのです。

■一〇年前までは、米やトウモロコシの農地だったところを、日本とアメリカの大企業が、マルコス政権の軍隊の

（仮称）釜崎夜間学校とは……

我々が釜崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰かもがいつかは必ずぶつかる、一人の問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の問題等を皆の力で解決していく

力を借りて半強制的に取り上げて大きなバナナ農園をつくらされた。やむなく臨時雇いの農工労働者になったのでした。女天下でのつらい長時間労働のうえに、食うに、まる安賃金、そしていつ首を切られるかわからない不安定な身合にさらされています。

■昨春に賃上げと待遇改善を要求して労働組合を結成しようとして大量の首切りに端を発して、自然発生的なストが起きました。戒厳令下の当時で

為に、先生と生徒の關係ではなく、皆

が生徒で先生でもあると言う対等な關係の中で、互いの知識と経験を通して考え学び合う自由な場です。是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。



は生命がけの訴えでしたが、政府はただちに介入してつぶしてしまいました。■東南アジアのある出来事ですが、実は、釜崎の我々と深くかわつている問題があります。今日はそれについてスライド「人を食うバナナ物語」を見ながら、それぞれの立場を述べ、共に連帯して行く道を築いていきたいと思っています。

■ひとりでも多くの仲間の参加を歓迎

します。夜間学校は、毎週不眠月夜七時から九時まで「喜望の家」で行っています。

8月予定  
6日(木) 出社と朝の話題  
13日(木) 夏の合流  
20日(木) 今後の夜間学校相談  
27日(木) 釜崎の歴史

# (仮称)釜ヶ崎夜間学校ニュース 第42回報告 『暑くて長夏の出来』

## 「暑くて長夏を」 「暑くて長夏を」 「暑くて長夏を」

### 「暑くて長夏を」 「暑くて長夏を」

### 「暑くて長夏を」 「暑くて長夏を」

今、この夏の釜ヶ崎の状況の中で、二〇年前の釜ヶ崎暴動のことを考えてみると、いろんなことを感じるものです。また、今年の四月からの、イギリスの人種差別をきっかけとしておきた暴動にも目をむけながら、釜のことを考えてみることも大切ではないでしょうか。

先週の夜間学校でも、いろんな意見がでてきました。

「この夏は暴動はおこらないだろうし、いや、おこるんちやいままか。仕事がないから」

「暴動のあった三十六年のころというたら、うどんが七〇円、コーヒーが四〇、五〇円、めしが二〇〇円前後で、五円玉が使えた時代でした。あのころは、すこし不況ではなくなつたときでした。ど

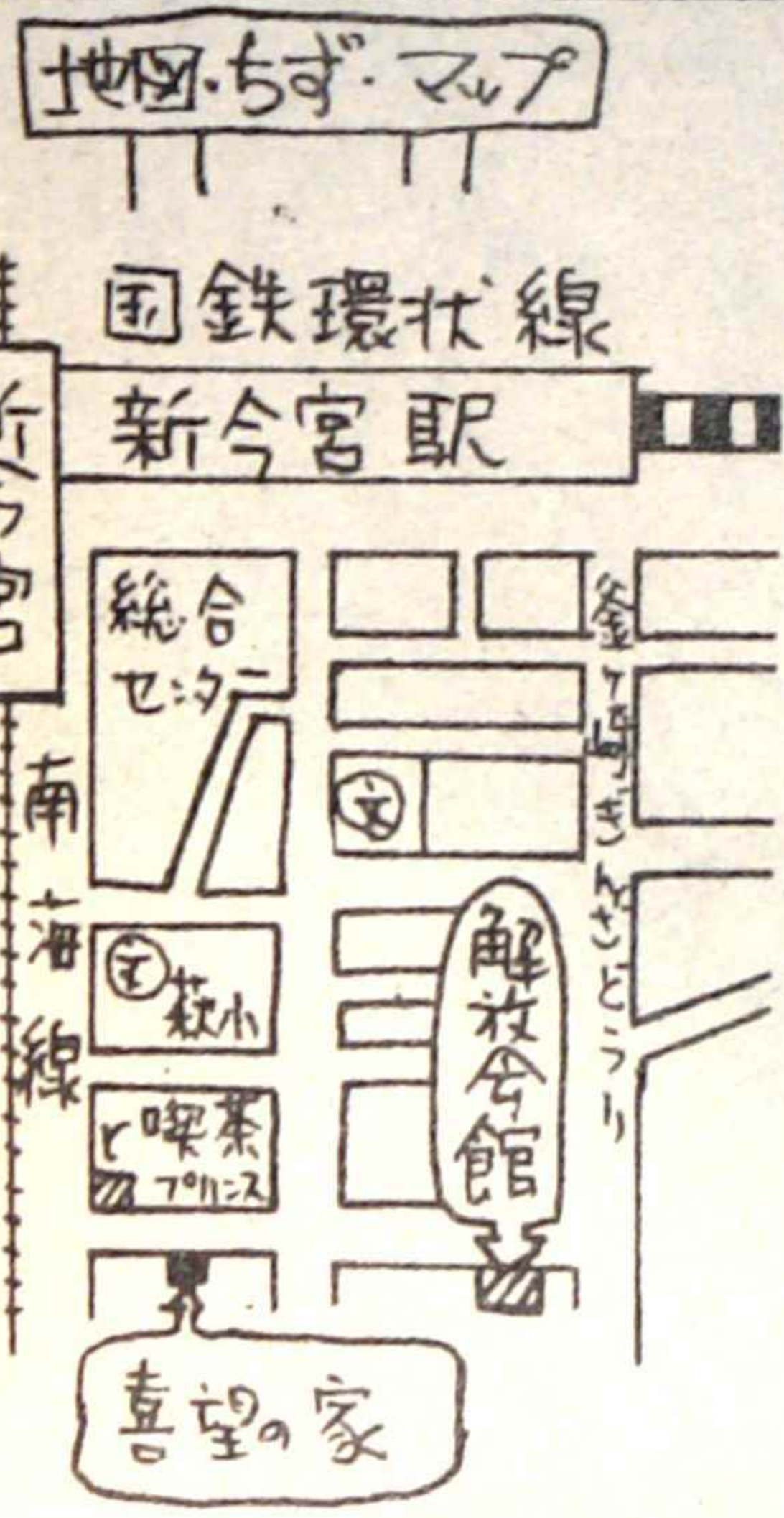
ん底は、三十三、四年でしょう。」「でも、あのころに比べると、確かに、服どうや食べ物が変わったが、本質的には変わっていないとちがいますか。」

「イギリスの暴動は、日本の暴走族だという人もいるが、これはイギリスの根ぶかい人種差別がある。」「イギリスの暴動の味と出方をみてみると、釜ヶ崎の問題と共通している。」

### 腹がへつたら池のヨイやあひるを食つてみた?

今年が36年のキ一次暴動から20周年になります。しかし、ここ数年は、暴動はおきていません。そこから、話はさらにすすんで、昔と今の釜の仲間の意識の状況について話し合いました。

「今は昔にくらべて、みんな無気力になった。昔は、腹がへつ



たら、池のヨイやあひるを食つて食べる人がいたが、今はない。そのことは、やはり、権力の一方的な圧力によって、労働者がへたへたになったということではないか。」「それもひとつだけ、自分の生活を自分でなんとかする、なんとかできるといふ意識がなくなったことでもあると思う。」「今はみんな他人まかせだ。」「生活感覚が、マモウさせられちゃった。」「友だち関係がなから、西成署に誰かがひっぱっていかれても、助けようという気持ちだんだんなくなつた。」「結局、自分で切り崩していく気持ちがなくなつてきた。」

(仮称)釜ヶ崎夜間学校  
運営委員会(準)